



新高機能性肥料 KANEKA FERTILIZER™ W2

カネカ ファーティライザー W2

酸化型グルタチオン配合

KANEKA FERTILIZER™ W2の特徴

- 生育時におけるストレスを低減することで、植物の本来持つ力を引き出します。
- 光合成能を安定化させます。



施用方法

KANEKA FERTILIZER™ W2を葉面散布、灌注、ドブ漬け

作物	施肥方法	施用量(10a/回)			施肥時期と回数	期待する効果
		投下量	希釈倍率	散布水量		
 てんさい	葉面散布	100g	500~1000	50~100L	葉展開盛期 糖蓄積期 計2回	根部肥大 糖蓄積向上
 小麦	葉面散布	100g	500~1000	50~100L	起生期~幼穂形成期 計1回	低温ストレス軽減 粒数増加
 大豆	葉面散布	66g	750~1500	50~100L	第3~4葉期・開花初期 肥大初期 計3回	莢数増加 結実充実・子実肥大
 ばれいしょ	葉面散布	50~66g	750~2000	50~100L	着蕾前、着蕾期前後 開花期~終花期 計3~4回	塊茎数増 塊茎肥大
 たまねぎ	葉面散布	100g	500~1000	50~100L	肥大始期・後期 計2回	肥大促進
 ニンジン	葉面散布	100g	500~1000	50~100L	肥大始期・後期 計2回	肥大促進
 水稻	葉面散布	散布水量に 合わせる	300~500	—	定植7日前 計1回	活着性促進 低温ストレスの軽減 分けつ数の増加
 葉茎菜類	葉面散布 灌注・ドブ漬け	散布水量に 合わせる	1000~2000	—	定植7日前・定植直前 定植後10日程度 計3回	活着性促進 初期生育の向上 肥大の安定化

※本効果は、全ての作物への適用を保証するものではありません。
 ※上記は作物への効果を保証するものではありません。
 ※上記以外の作物でも、通常肥料を投与する時期に合わせてご使用になれます。



使用上の注意

- 食べ物ではありません。食べないでください。
- 「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがございます。危険ですから「石灰硫黄合剤」や高アルカリ性資材との混用はおこなわないでください。
- 目と皮膚への接触を避けるため、作業時は保護具を着用してください。
- 開封後は必ず密閉し、直射日光、高温多湿を避けて保管ください。



カガクで
ネガイを
カナエル会社
kaneka

製造元

株式会社 **カネカ**

TEL.06-6226-5109 FAX.06-6226-4719
 E-Mail: food_production_support@kaneka.co.jp
 URL: <https://www.kaneka-gssg.com/>

北海道の方はこちらへ 株式会社 カネカ北海道 <https://kaneka-hokkaido.co.jp/>